

事業名 新潟県立歴史博物館 出前講座

目的 当館研究員の「調査・研究」活動の成果を広く県民に普及する場として、また、県民の多様なニーズに即した生涯学習の場として、県内各地で講座を開設する。講座の内容は、新潟県内に残る歴史事象等に関するものとし、本館研究員を派遣して実施する。また、一般的歴史的内容についての要望があればそれに応える。

実施主体 新潟県立歴史博物館

参加対象 一般、親子

参加者数 延べ 160名 (第6回 12月17日分 終了現在)

回数 11回 **日数** 11日 **時間** 16.5時間 (90分×11回)

場所 県内10会場 (下記)

内容

各回とも配付資料・視聴覚機材を用い実施、講義後、質疑応答を行った。

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月20日 (月) 14:00~15:30	葬儀とお墓を考える 会場：田上町公民館	当館主任研究員 宮尾 亨
	内容・方法	日本の旧石器時代から現代までの葬制及び墓制について、考古学・文献史学・民俗学を通して概観し、その変化及び地域性を考えた。また、中国における葬墓制との比較も行った。 現在の葬墓制のあり方を考える一コマ。	
2	10月22日 (水) 19:30~21:00	日本海海運と民俗文化 会場：栗島浦資料館	当館交流普及課長 野堀 正雄
	内容・方法	様々な歴史資料に基づき、多くの研究者によって日本海海運について論じられてきたが、従来からの諸研究が見落とししていた、あるいは気づかなかった点を明らかにするという視点に立って、日本海海運を再考した。また、「船絵馬」の見方についても分かりやすく解説した。	
3	10月25日 (土) 10:00~11:30	体験教室：本格まが玉作り 会場：三条市井栗公民館	当館主任研究員 山本 哲也
	内容・方法	滑石(かっせき)より硬くこわれにくい石材(青田石)を使って、まが玉作りをした	
4	11月9日 (日) 10:00~11:30	体験教室：本格まが玉作り 会場：南魚沼市中央公民館	当館主任研究員 山本 哲也
	内容・方法	滑石(かっせき)より硬くこわれにくい石材(青田石)を使って、まが玉作りをした	
5	11月15日 (土) 14:00~15:30	佐渡金山と出雲崎 会場：出雲崎 天領の里	当館主任研究員 渡部 浩二
	内容・方法	日本最大の規模を誇った佐渡金銀山は、江戸時代初期に最盛期を迎え、幕府の財政を支えた。出雲崎は、佐渡金銀山から産出する金銀の陸揚げ湊であるとともに、北国街道経由で継送されてきた金銀山関係の人や物を佐渡へ渡す拠点として、重要な位置にあった。このような、江戸時代における佐渡金銀山と出雲崎とのかかわりを紹介した。	
6	12月17日 (水) 19:00~20:30	新潟県の歴史 近現代 会場：五泉市村松公民館	当館主任研究員 田邊 幹
	内容・方法	近代になると新潟県も、世界の大きな歴史の流れの影響を受けるようになった。 近代の世界の情勢と新潟県の出来事に関連づけて解説した。 (地元講座「五泉市 市民大学講座 自由大学」として実施)	

7	2月10日（火） 10:00～11:30	民俗学へのいざない 「すし」の文化誌 会場：三条市下田公民館	当館交流普及課長 野堀 正雄
	内容・方法	昨今、世界的な「スシ」ブーム。一方、すしネタとなる高級魚が漁獲制限などで入手が難しい。子どもから大人まで、老若男女に広く好まれている「すし」。新潟県の事例をも取り混ぜ、その歴史の変遷を解説した。	
8	2月17日（火） 14:00～15:30	縄文を科学するー青田遺跡の生活復元ー 会場：胎内市産業文化会館	当館主任研究員 荒川 隆史
	内容・方法	新発田市に所在する青田遺跡は、考古学以外の関連諸科学の協力を得て、総合的な発掘調査が行われた。このように科学的手法により大きな成果が得られた、青田ムラの様子を具体的に解説し、青田縄文人の生活復元を通して縄文時代への理解を深めた。	
9	3月8日（日） 14:00～15:30	技術の考古学（ガラスの考古学） 会場：胎内市産業文化会館	当館専門研究員 西田 泰民
	内容・方法	日本のガラス作りの歴史を原料の変遷を含めて学んだ。	
10	3月14日（土） 14:00～15:30	江戸時代の旅と越後の観光名所 会場：十日町情報館	当館主任研究員 渡部 浩二
	内容・方法	江戸時代は庶民の間にも旅が盛んとなり、越後にも多くの人びとが訪れた。当時の旅行案内書や道中記などから、そのような旅の実態と越後の観光名所について解説した。	
11	3月14日（土） 14:00～15:30	年中行事 一見方・考え方・調べ方ー 会場：柏崎市市民プラザ	当館交流普及課長 野堀 正雄
	内容・方法	日本人の生活のリズムともいふべき年中行事（歳時習俗）の構造を民俗学の立場から明らかにした。さらに、調査の方法や、固別事象の年中行事が持つ意義を併せて考えた。	

成 果

- 今年度、長岡市を除く県内すべての市町村に講座案内（全72講座）を発送し、希望を募った。その結果、粟島浦村、胎内市など、今まで出前講座を実施したことのない市町村を含め、9市町村から依頼をいただき、合計11回実施することができた。どの会場も、たくさんの方々から参加いただき（各回平均30名程度）、好評を得た。また、講座を行った市町村担当者から「来年度もぜひ出前講座をお願いしたい」との申し出をいただいている。

課 題

- 今年度、出前講座として72の講座を準備したが、特定の講座に希望が集中したり、「こんな講座をやってほしい」という要望も多数いただいた。ご意見を参考にしながら、より県民のニーズに対応できる講座作りに努めていきたい。

問合せ先 新潟県立歴史博物館 交流普及課（担当：久保英典、小林昌英） TEL：0258-47-6135